



【スケジュール】

| | | | |
|------|-------------|---------------|-----------------------|
| 午前の部 | 11:00~12:00 | 午前分科会 | 「ジュゴン」 |
| 会場受付 | 12:00~13:00 | | |
| 午後の部 | 13:10~14:20 | 「基調講演」・・・青山貞一 | (第7会議室) |
| | 14:20~14:30 | 分科会演者紹介 | (第7会議室) |
| | 14:40~15:40 | 午後前半分科会 | 「ジュゴン」「女性の人権」「沖縄独立運動」 |
| | 16:00~17:00 | 午後後半分科会 | 「ジュゴン」「女性の人権」「沖縄独立運動」 |

【講演者紹介】

青山貞一

■**経歴**：1946年生まれ、63歳。東京都品川区在住

(株)環境総合研究所代表取締役、東京都市大学(旧武蔵工業大学)環境情報学部教授、同大学院教授(現職)、

■**専門分野**：環境政策論、公共政策論

■**学会活動**：国際ダイオキシン会議(学会)、大気環境学会、環境科学会、環境アセスメント学会理事等

■**沖縄辺野古の関わり**：何回も現地視察を行い、環境の分野から大浦湾の美しい海を基地として埋め立てることに異論を唱える。防衛省アセスのデタラメを沖縄等で講演する。現在「辺野古・違法アセス訴訟」の原告団の1人として専門的見地から準備書面の作成に関わる。

東恩納琢磨

■**経歴**：1961年生まれ 名護市瀬高在住 名護市会議員

■**活動**：沖縄の海に「基地ではなくジュゴン保護区」をモットーに、名護市瀬高でジュゴンとともに生きる地域づくりを実践されている。2003年に米国カリフォルニア北部連邦裁判所に提訴した沖縄のジュゴンと地域住民及び日米の自然保護団体が米国防総省と国防長官を訴えた「ジュゴン訴訟」の原告団として訪米。2008年1月原告勝訴を勝ち得た。

■**HP**：「ジュゴンの里」代表 <http://dugongnosato.jp/default.aspx>

「ジュゴン保護基金」事務局長 <http://fenv.jp/20030331/project/dugong200005/fund.htm>

上原信夫

■**経歴**：1924年生まれ 沖縄国頭村奥出身 NPO日本中国留学生研修生援護協会 理事長

■**ご紹介**：上原信夫氏の人生は、明治初期の琉球処分から南米移民、満州開拓少年義勇軍・関東軍、重営倉入獄、宮古での死刑宣告、沖縄戦と米軍統治、沖縄民主同盟設立、中国密航と、まさに波乱の沖縄の近現代史そのものです。13歳で満州国少年義勇軍に入り、そこで、軍は人民を苦しめることはあっても、決して助けてはいないことに気付く。終戦直後の虚脱状態の中で新しい沖縄を造っていかうという氏の熱弁は多くの若者に共感を与えた。「言論と集会の自由」を訴え民主主義の獲得をめざして活動するが米国高等軍事裁判で有罪判決を受け、中国に密航を企てて姿を消した。1975年の帰国後氏は、反戦平和を訴え、現在でも日中の交流や若者達の留学や交流に力を注いでいる。

ジェーンさん

■**ご紹介**：2002年に横須賀基地所属米兵に性暴力被害を受け、事件直後に神奈川県警に通報。検察は不起訴を決定、米軍も軍法会議で扱わないことを決定する。ジェーンさんはあきらめずに民事裁判を起し、04年に勝訴判決を勝ち取り、加害者には賠償支払いが命じられましたが、米兵は公判中に日本を出国し、その後の行方がわからなくなっていたため、加害者からジェーンさんに対する賠償金は支払われていませんでした。日本の検察および米軍による不起訴決定にくじけず、ここまで正義を求めて闘ってこられたジェーンさんの努力が勝ち取った成果をたたえたいと思います。そして今回のケースをきっかけに、制度上の欠陥によって多くの米軍犯罪被害者が救済を得られないままにされてきた現状が見直され、救済の道が拡大されることを期待してジェーンさんをお呼びしました。